
基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について(11月4日)

◆11月4日の基準価額下落について

別表に記載の公募ファンドの11月4日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。
基準価額下落の背景となりました市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告致します。

◆基準価額下落の背景となった市況動向等

11月4日の基準価額へ反映される米国株は4営業日続落しました。11月1から2日に米連邦公開市場委員会(FOMC)が4会合連続の0.75%利上げを決定(FF金利は3.75~4.0%になりました。)。会合後にパウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長が、前回FOMC以降のデータを踏まえると最終的なFF金利水準が従来想定より高くなる可能性に加え、利上げ停止を考えるのは時期尚早とも発言したことから、株式市場では利上げ長期化に対する警戒感が高まりました。政策金利と連動性の高い2年国債利回りが15年ぶりの4.7%台まで上昇、10年国債との利回り逆転現象がより鮮明となるなど米景気後退懸念が再燃しています。また直近7-9月期の米企業決算発表で大手IT企業の内容が芳しくない点も含め、ナスダック指数などハイテク企業の株価調整が目立っています。

◆今後の見通しおよび運用方針

米国を含め、主要先進国のインフレ率が軒並み高止まりするなか、各国中央銀行は引き続きインフレ抑制を最優先に、利上げを継続する方針を示しています。当面は、急速な金融引き締めが世界的な景気悪化を招くとの懸念から、企業業績下振れリスクへの意識が高まりやすく、相場の上値を抑える展開が予想されます。

今後も市況動向等に十分注意を払い、引き続きコンセプトに沿った運用を継続していく方針です。

■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
■また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

<別表>

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり>(資産成長型)	9,765円	-758円	-7.20%
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	5,126円	-397円	-7.19%
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)予想分配金提示型	5,999円	-453円	-7.02%
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	16,025円	-1,210円	-7.02%
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジなし>(資産成長型)	13,825円	-1,004円	-6.77%
米国IPOニューステージ・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	7,124円	-517円	-6.77%
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	8,021円	-580円	-6.74%
サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	22,412円	-1,620円	-6.74%
eMAXIS Neo コミュニケーションDX	8,656円	-548円	-5.95%
eMAXIS Neo ウェアラブル	22,457円	-1,353円	-5.68%
三菱UFJ NASDAQオープン Aコース	8,431円	-503円	-5.63%
グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型)為替ヘッジあり	10,463円	-620円	-5.59%
グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)為替ヘッジあり	4,369円	-258円	-5.58%
eMAXIS Neo フィンテック	11,711円	-675円	-5.45%
グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)	5,620円	-320円	-5.39%
グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型)	16,761円	-953円	-5.38%
三菱UFJ NASDAQオープン Bコース	13,840円	-761円	-5.21%
GRAN NEXT テクノロジー	8,333円	-441円	-5.03%

※騰落率は、収益分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものであり、小数点第3位を四捨五入しています。

※ファンドによっては、投資対象資産や通貨の評価対象日(ファンドへの実質的な反映日)が異なります。

(ご参考)

【株式相場】

	11月3日	11月1日	11月1日比	
			騰落幅	騰落率
NASDAQ総合指数	10,342.94	10,890.85	-547.91	-5.03%

※小数点第3位四捨五入

※出所:Bloomberg

	11月3日	10月31日	10月31日比	
			騰落幅	騰落率
NASDAQ総合指数	10,342.94	10,988.15	-645.21	-5.87%
S&P500種株価指数	3,719.89	3,871.98	-152.09	-3.93%

※小数点第3位四捨五入

※出所:Bloomberg

【為替相場】

	11月4日	11月2日	11月2日比	
			騰落幅	騰落率
円/米ドル	148.34	147.62	0.72	0.49%

※為替レートは三菱UFJ銀行の対顧客レート仲値等

※小数点第3位四捨五入

※出所:Bloomberg

	11月3日	10月31日	10月31日比	
			騰落幅	騰落率
円/米ドル	148.19	148.64	-0.44	-0.30%

※為替レートはWMロイターの値

※小数点第3位四捨五入

※出所:Bloomberg

【投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

(ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。)

■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用

- ・購入時(換金時)手数料 … **上限 3.30%(税込)**

※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限 38,500円(税込))を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

- ・信託財産留保額 … ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- ・運用管理費用(信託報酬) … **上限 年3.41%(税込)**

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

- ・その他の費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

■本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

■投資信託の取得のお申込みに関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

設定・運用 … 三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたいリスク等を以下に記載させていただきましたので、必ずお読み下さい

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

手数料等諸費用について

- ・ 国内上場株式等の売買等にあたっては、約定代金に対し、最大1.243%（税込）（但し、最低手数料2,750円（税込））の委託手数料をお支払いいただきます。
- ・ 外国上場株式等の売買等にあたっては、約定代金に対し、2.200%（税込）（但し、最低手数料5,500円（税込））の委託手数料をお支払いいただきます。
- ・ 国内および外国上場株式等を募集等、または相対取引により購入するにあたっては、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・ 債券を募集、売出し等、または当社との相対取引により購入するにあたっては、購入対価のみをお支払いいただきます。（但し、購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。）
- ・ 投資信託の売買等にあたっては、銘柄ごとに設定された各種手数料等（直接的費用として購入時に最大3.85%の購入時手数料（税込み）、解約・償還時に最大0.50%の信託財産留保額、間接的費用として最大年率3.80%の運用管理費用（信託報酬）、及びその他の費用等）をお支払いいただきます。
- ・ 外貨建て商品の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものといたします。

リスクについて

- ・ 各商品等には、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い、価格等が変動することによって損失が生じるおそれがございます。
- ・ 各商品等には発行者の信用状況等（財務・経営状況を含む）の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがございます。また発行者の信用状況等によっては、利金・償還金等の支払いの遅滞・不履行が生じるおそれがございます。
- ・ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がございます。
- ・ 各商品等が外貨建てである場合、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがございます。
- ・ 信用取引またはデリバティブ取引等を行う場合、対象となる有価証券の価格又は指標等の変動により、損失の額がお客様の差し入れた委託保証金または証拠金の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）がございます。

その他

- ・ 外国の発行者が発行する上場有価証券については、金融商品取引法に基づく開示書類が英語により記載されることがあります。該当する上場有価証券は日本証券業協会のホームページ（<http://www.jsda.or.jp/shiraberu/foreign/meigara.html>）でご確認いただけます。

商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等またはお客様向け資料の内容を十分お読みいただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。